

◇—————◇  
公益社団法人 日本航空機操縦士協会

メールマガジン Vol.140 2024/3/15  
◇—————◇

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。  
今号は以下の内容でお送りいたします。

★—————INDEX—————★

- [1]【三役コラム】羽田空港航空機衝突事故対策検討委員会
- [2]【常務理事コラム】第 21 回小型航空機セーフティセミナー開催について
- [3]【航空局】「小型機(回転翼航空機)に係る安全情報の共有」について
- [4]【航空局】「R6.3/21 適用 航空保安業務処理規程の改正について」(洋上横間隔 12NM・オフセット・悪気象空域の回避・移管情報等・レーダー移送・火山灰雲・待機指示)
- [5]【お知らせ】JAPA Air Book サービス開始のお知らせ
- [6]【お知らせ】春休み子ども航空教室・操縦体験 お申込み受付開始
- [7]【VOICES FEEDBACK】
  - <①>夜間着陸後、指示と異なる TWY に進入
  - <②>機内への忘れ物の可能性について
- [8]【お知らせ】セミナー・イベント
- [9]【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★—————

- [1]【三役コラム】羽田空港航空機衝突事故対策検討委員会  
専務理事 池田 晃二

★—————

1 月 2 日に羽田空港で発生した航空機衝突事故を踏まえ、滑走路における航空機等の衝突防止のため、さらなる安全・安心対策をハード・ソフト両面から検討することを目的に 1 月 16 日に羽田空港航空機衝突事故対策検討委員会が立ち上がりました。

現在まで3回の委員会が開催され、JAPAも関係団体として参加をしています。

協議内容は国土交通省のホームページに掲載されています。それと同時に航空の安全・安心確保に向けた緊急対策が実施されています。

国土交通省のホームページに発表資料が掲載されていますが、

1. 管制機関及び航空事業者等への基本動作の徹底指示
2. 管制官による監視体制の強化(滑走路への誤進入を常時レーダー監視する人員の配置)
3. パイロットによる外部監視の徹底、視覚支援
  - ・航空事業者等への滑走路進入時及び着陸進入時における外部監視の徹底指示
  - ・滑走路進入手前の停止線位置標識の高輝度塗色
4. 滑走路進入に関するルールの徹底
  - ・滑走路進入に関する管制用語のパイロットへの周知徹底
  - ・滑走路進入に関する管制指示の更なる明確化
  - ・滑走路周辺の走行に関する要注意事項の航空事業者等への周知徹底
5. 関係者間のコミュニケーションの強化
  - ・管制官とパイロットの交信に関する緊急会議の開催

以上の項目が2月までに実施されています。

羽田空港航空機衝突事故対策検討委員会はこれ以降、月2回程度の開催を経て今夏に中間取りまとめを行います。

検討会の中でJAPAホームページにも掲載されている「ATCコミュニケーションハンドブック」の有効活用の意見が、委員から出ています。今後もJAPAとして検討委員会の中で、パイロットの立場から多岐にわたって安全対策を発信していきます。

★

[2]【常務理事コラム】第 21 回小型航空機セーフティセミナー開催について

常務理事 早乙女 一成

★

毎年冬に開催している「小型航空機セーフティセミナー」が 2 月 8 日(木)9 日(金)の二日間にわたって、昨年と同じ実参加とオンライン参加のハイブリット型で開催いたしました。会場では活気あふれる皆さんの姿をみることができました。今回は、最近小型航空機の安全対策の一つとして注目を集めています FDM の話と、その利用方法の話題。気象で冬の突風の話、ノンテクニカルスキルの話、運輸安全委員会、運航審査官、航空従事者試験官、そして今回は異業種ではありませんが、トヨタ自動車での安全の考え方の講演をいただきました。このセミナーの原点は「事故から学ぶ」です。過去の色々な事故の教訓から、現在の考え方であったり、システムであったりが成り立っていて、そしてそれらが私たちの今の安全運航の基礎となっていることと思います。時代は常に変化しております。安全の考え方も進化してはいますが、基本の部分ではそう大きくは変わっていないと思います。「基本が大事」とよくいわれますが、その「基本」がなぜ「基本」となったのかを理解すると、忘れることはないのではないのでしょうか。今後も日本の小型航空機の安全のために、JAPA としてできることを行っていきます。

★

[3]【航空局】「小型機(回転翼航空機)に係る安全情報の共有」について

★

今般、回転翼航空機(航空運送事業者)において、操縦士が意図しない操縦操作が行われトランスミッション(TQ/FMI)の運用限界を超過した事例がありました。航空局より自家用運航者向け、添付安全情報を得ましたので、共有させていただきます。事業会社並びに操縦者におかれましては、操縦装置等の操作

に着衣等が干渉しないことを十分留意の上、同種事例の未然防止、ならびに更なる安全運航にお役立てください。

詳細は HP をご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/8883>

★

---

[4]【航空局】「R6.3/21 適用 航空保安業務処理規程の改正について」(洋上横間隔 12NM・オフセット・悪気象空域の回避・移管情報等・レーダー移送・火山灰雲・待機指示)

★

1. 令和6年3月21日適用の航空保安業務処理規程の改正について、改正項目に変更が生じており、令和6年3月21日適用の改正内容は以下のとおりです。

- ・移管情報等について15分前まで等の時間を調整要領等で柔軟に設定可能とする改正
- ・レーダー移送に係る規定の見直し(システムポイントアウトの整理)
- ・火山灰雲に係る PIREP の取扱いの追加
- ・待機指示に「as published」の用語を新設

2. 当初予定されていた以下の項目については適用日が延期されました。新たな適用日は追って航空局から通知される予定です。

- ・洋上管制区における横間隔 12NM(上昇降下時のみ)の新設
- ・福岡 FIR 全域の管制区管制所におけるオフセットの導入
- ・悪気象空域の回避の規定の見直し(令和3年11月に提示した案の修正案: 前回の意見照会に対する回答付き)

現段階での改正案を共有させていただきます。なお、本改正案は、航空局からの通知依頼を受けた R6.2.26 の段階では省内の決裁前の内容であり、確定ではございませんので、ご注意願います。

詳細は HP をご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/8930>

★

---

[5]【お知らせ】JAPA Air Book サービス開始のお知らせ

★

---

先々月より  $\beta$  テストのご参加いただきました新サービスの  
JAPA Air Book が 2 月 19 日(月)からサービス開始をしました。

サービス開始日当日に、全会員の方に JAPA 発行書籍ログイン  
用 ID とパスワードを送付するために協会からお渡して  
おります「会員番号@[japa.or.jp](http://japa.or.jp)」のメールアドレスへご案内が  
届いておりますので ID とパスワードをご確認後ログイン  
してご利用ください。

メールが見られていない方はこの機会にぜひ設定ください。

メール設定の仕方はこちらをご参照下さい。

<https://drive.google.com/file/d/16Hctodyq2fEOvbupws3NYcZTj6aCTt46/view>

ご不明点は [airbook@japa.or.jp](mailto:airbook@japa.or.jp) へお問い合わせください。

★

---

[6]【お知らせ】春休み子ども航空教室・操縦体験 お申込み受付開始

★

---

小学 3 年生～6 年生を対象に航空教室・シミュレーター操縦  
体験を開催します。

航空教室では、クイズなども盛り込みながら飛行機の飛ぶ  
仕組みを、わかり易く解説します。

また、シミュレーター操縦体験を行い、世界中の空の散歩  
を楽しんでいただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

対 象 : 小学 3 年生~6 年生

開催日 : 3/24(日)、3/27(水)

時 間 : 13:00~16:00

場 所 : 日本航空機操縦士協会 会議室

定 員 : 各日 8 名

料 金 : 1,000 円

締切日 : ① 2024 年 3 月 22 日(金)15:59

② 2024 年 3 月 26 日(火)15:59

※ 定員に達した場合は、締切日前に受付を終了いたします。

過去の開催の様子です。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2023/10/d9343641a0d76a71ac8fb6bab737df78.pdf>

実際に使用するシミュレーターはこちらです。

<https://youtu.be/DGB1grbMzBk>

お申し込みは HP をご参照ください。

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=11>

★

[7]【VOICES FEEDBACK】

<①>夜間着陸後、指示と異なる TWY に進入

<②>機内への忘れ物の可能性について

★

①夜間着陸後、指示と異なる TWY に進入

伊丹到着時、Tailwind を考慮して ILS RWY32L を計画した。NOTAM で W8/W9 の TWCL が U/S のため、夜間着陸では TWY が認識しづらいので慎重に Runway Vacate することを PM と共有した。32L に着陸後、Tower から“Take W9 Cross RWY 32R, Expedite Taxi”と指示された。後続機のために Expedite の指示が与えられたと思い、速やかに RWY を離脱しようと意識が働き、視認できた TWY から Exit した。しかし、Exit した TWY は

W8であった。その後 GND の Taxi Instruction により Spot In した。

☞ VOICES コメント

着陸直後の管制指示については過去から継続して事例が挙げられています。VOICES からの提言として、着陸直後はパイロットにとってクリティカルかつワークロードが高い状況であるため、離脱誘導路を指示する必要がある場合は、可能な限り着陸進入中で行うこと、また、着陸中の離脱誘導路の指定も可能な限り行わず、やむなく指示する場合においても必要最小限とすることが望まれることを、過去挙げています。今回の事例では、夜間において複数の TWCL が U/S であるため特にワークロードが高く、滑走路からの迅速な離脱を意図した指示をするのであれば、離脱誘導路はパイロットに任せてもらいたいですね。

②機内への忘れ物の可能性について

朝、前日搭乗した機体に忘れ物をした可能性があるが、情報はないでしょうかと訓練生から整備に問い合わせがあった。確認したが忘れ物等は発見されていなかった。忘れ物をした可能性のある機体はまだ出発前であったため、教官とも協議して機体の出発を遅らせ、機内搜索を皆で行ったが発見することはできなかった。このため、搭乗教官にも説明し運航に供した。その後忘れ物は、本人以外の鞆から発見された(他の鞆に入っていた経緯は不明)。最終的には機外から発見されたので運航を遅らせる必要はなかったが、機内に忘れ物をすると大変な手間がかかることを認識いただきたい。

☞ VOICES コメント } 機内の忘れ物はコックピット FOD にも繋がりがねないので要注意ですね。

★

[8]【お知らせ】セミナー・イベント

★

《SRM セミナー》

3月21日 東京 開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=1>

《RNAV 講演会》

4月20日 東京 / オンライン開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=2>

《航空安全講習会》

4月21日 埼玉 / オンライン開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>

★

[9]【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★

JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、JAPA 団体保険(ロスオブライセンス)へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページよりご覧ください。

オンライン入会を導入いたしましたので JAPA ホームページからすぐに入会手続き可能です。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member>

\*\*\*\*\*

★次回の配信は4月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

---

【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール [japa@japa.or.jp](mailto:japa@japa.or.jp)

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>

---